

# 中国五県都市対抗軟式野球大会

## 広島県決勝トーナメント

2022年4月2日（土）～3日（日）の2日間にかけて、鶴岡一人記念球場にて中国五県都市対抗軟式野球大会広島県決勝トーナメントが行われました。

初戦は、西部地区代表の広島フェニックスとの対戦となりました。

試合は、両チーム無得点で迎えた4回の攻撃。

この回先頭の島袋がラッキーなヒットで出塁すると、四球などで更にチャンスを広げ、遠目塚のタイムリー3ベースヒット、橋本のタイムリーヒットで3点を先制しました。

その後も、攻撃の手を緩める事なく8回に追加点を奪い、6 - 0で初戦を突破しました。

翌日の準決勝では、広島市第2代表の三篠クラブと対戦をしました。

試合は初回、先頭打者の福島が四球を選び、いきなりチャンスメイクをすると、1死2・3塁から竹元がタイムリーヒットを放ち、幸先よく先制をしました。

試合中盤には、ヒットや四死球、バッテリーエラーなどで得点を重ね、7 - 0の7回コールド勝ちで決勝へと駒を進めました。

午後からの決勝戦は、広島市代表の広島ガスとの対戦となりました。

試合は初回、死球で出したランナーを得点圏に置くと、そこからエラーやヒットが重なり、いきなり3点を許す苦しい立ち上がりとなりました。

その裏の攻撃では、平・竹元がヒットを放つなどチャンスを作りますが、あと一本を出すことが出来ず、すぐさま反撃とはなりませんでした。

その後の攻撃でも、チャンスは作るものの相手投手に要所を抑えられ、得点を奪うことが出来ませんでした。

一方の守備も、初回に勢いづいた悪い流れを止める事が出来ず、2番手で登板した笹川、3番手で登板した岡山がそれぞれ失点を許し、0 - 8で7回コールド負けを喫しました。

この悔しい結果をチーム一人ひとりがしっかりと受け止め、次回の大会では、リベンジが出来るように頑張る予定です。

この度は、ご声援のほどありがとうございました。引き続き、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 結 果

4月2日（土）

初戦

対 広島フェニックス（西部地区代表） 6 - 0 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
フェニックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小泉病院	0	0	0	3	0	0	0	3	×	6

バッテリー：延近（1 - 7回）・笹川（8回）・平（9回） - 橋本  
 3塁打：遠目塚（4回）

4月3日（日）

準決勝

対 三篠クラブ（広島市代表②） 8 - 0 ○

	1	2	3	4	5	6	7	合計
三篠クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0
小泉病院	1	0	0	0	1	5	×	7

（7回コールド勝ち）  
 バッテリー：笹川（1 - 6回）・岡山（7回） - 橋本  
 2塁打：竹元（1回）  
 3塁打：平（6回）

決 勝

対 広島ガス（広島市代表） 0 - 8 ●

	1	2	3	4	5	6	7	合計
広島ガス	3	0	1	0	2	0	2	8
小泉病院	0	0	0	0	0	0	0	0

バッテリー：延近（1 - 3回）・笹川（4 - 6回）・岡山（7回） - 橋本・竹元

◎ フォトギャラリー



👉公式戦初出場、代打で安打を放つ武田選手（背番号2 捕手・内野手）



👉代走や代打で活躍を見せた吉田選手（背番号4 内・外野手）



👉今年もリードオフマンとしてチームを引っ張る福島選手（背番号5 内野手）



👉1試合目、タイムリー3ベースヒットを放った遠目塚選手（背番号6 内・外野手）



👉 今年も中軸で打線を牽引する中川選手（背番号18 内野手）



👉 3試合登板した笹川選手（背番号11 投手）